

ゆかりん53歳。 赤ちゃんと家族のために、 都政を動かします。



助産師・看護師としての視点から、
安全な医療と妊娠から産後にかけての支援の拡充を目指します。

1

医療・看護による安心・安全の確保

健康なときには意識しづらい医療ですが、予期せぬ事態で必要となることが多いものです。現在、看護・介護に携わる医療従事者は約6～27万人不足していると言われています。このような状況の中、労働環境は「9K」と表現されるほど過酷であり、収入も低い水準に留まっています。定められている看護者数が適正であるかどうかの再検討や、潜在医療従事者の活躍を促すための施策が必要です。

① 医療従事者の確保 ② 医療者の処遇改善 ③ 医療現場の職場問題の顕在化

2

子育てしやすい街づくり

子育て支援は多様に行われていますが、都内でも地域による支援の格差が見られます。特に産後は助産師などに相談しやすい環境を整えることが重要です。

① 妊娠前からの支援
② 妊娠・出産・産後の支援強化
③ 産後ケア従事者の安全性向上

3

孤立しない生活の実現

東京都内では約半数が単身世帯ですし、近隣に住んでいる方とのコミュニケーションも希薄です。災害時だけでなく、子育て中や独居の高齢者にとっても地域とのつながりは安心の向上につながります。

① 地域活動の活性化 ② 安心・安全なまちづくり
③ 防災・減災の推進

小林ゆかプロフィール ●1972年6月18日生まれ ●奈良県香芝市出身 ●1993年 看護師免許取得
●1995年 助産師免許取得 ●2018年 東京医療保健大学大学院看護学研究科前期修士課程修了
助産学修士取得 ●大学病院を始め産科病棟中心に勤務し、総合病院の産科病棟師長を務める
●母乳専門助産師として活動中 ●家族 シングルマザーとして息子(25歳)を育てる



こ
ば
や
し
小林
ゆ
か
無所属
53歳